

平成30年（2018年）2月28日

報道機関各位

クレジットカードの不正利用防止対策とIC化の取組み状況について

一般社団法人日本クレジット協会

一般社団法人日本クレジット協会（会長 杉本 直栄）では、クレジットカードの「安全・安心」な取引環境を確保するため、ネット取引における本人認証の推進やクレジットカード情報の流出を防ぐためのカード情報管理強化策の推進など様々な不正利用防止策を講じております。

この一環としてクレジットカードのIC化率を「2020年3月末までに100%を目指す」という目標を掲げ、業界を挙げて推進に努めております。

2017年12月末時点で、クレジットカードのIC化の進捗状況を調べたところ、協会加盟のカード会社234社のうち、ICカード化を100%達成している会社が84社でした。

また、調査対象会社の総発行枚数に占めるクレジットカードのIC化の割合は77.3%でした。

今後も同様の調査を年1回定期的に実施し、クレジット業界の取組み状況について広くご理解いただきたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

※ 調査に係る注釈

- (1) 調査の実施主体：（一社）日本クレジット協会
- (2) 調査対象会社：協会加盟しているカード会社のうち対象カード（国際ブランドとの提携によるクレジットカード）を発行している234社
- (3) 調査対象とするクレジットカード：国際基準である「EMV仕様」の接触型及び非接触型ICチップを搭載したクレジットカード。

○本件問い合わせ先

一般社団法人日本クレジット協会 セキュリティ対策推進センター
〒103-0016 中央区日本橋小網町14番1号 住生日本橋小網町ビル
TEL 03-5643-0011

以上

投稿先：東商記者クラブ・日銀記者クラブ